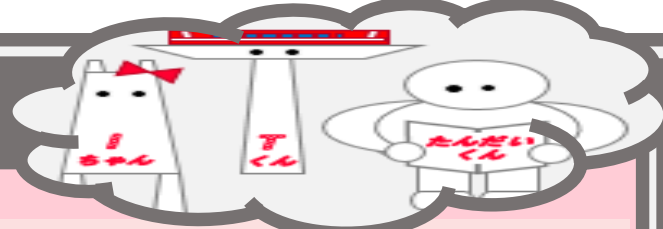




1 母校を尋ね成果を報告



県立勝田高等学校



野上諭 柴崎教諭 青木教諭
竹貴晃由さん、藤原大地さん

卒業を控えた2年生の『高等学校へのOB、OG訪問』を実施しています。学生が、本校での学びの様子や、資格の取得状況、進路について報告し、母校と恩師に感謝を伝えることがねらいです。

藤原大地さん(勝田高卒)は、「アットホームな母校で、担任の先生方にお会いできて嬉しい」と話していました。当時の学年の先生方から応援メッセージを頂きました。

探求の授業に招かれた3人は、メッセージボードを持参し、後輩の皆さんにお話ししました。野村俊介さん(土浦工高卒)は「久しぶりに恩師にお会いし、大学校の様子をお伝えしました」と話していました。

当時担任だった志賀卓先生からエールを頂きました。ご多忙の中、ご対応いただきありがとうございました。



綾戸悠騎さん 小菅尚紀さん 野村俊介さん

志賀卓教諭

綾戸悠騎
1.よく学ぶ
2.自分を知る
3.興味をもつ
県立IT短大

小菅尚紀
1.前向きに
2.メリハリをつける
3.時間を大切に
県立IT短大

野村俊介
1.向上心
2.よく調べる
3.協調性
県立IT短大

県立土浦工業高等学校

2 目指せ、活かせる卒研!



3階の電子工作実習室では、鈴木竜馬さん(佐竹高卒)が、「LEDを用いたインタラクティブアート」の製作を行っていました。これは、本校のオープンキャンパスで展示し、来校者にプログラム制御などに興味を持ってもらうことを狙いとしたものだそうです。

卒業研究が、中盤を迎え具体的な実践データからの分析や、様々なコンピュータ・シミュレーションが進んでいます。2階のゼミ室では、中間発表会が行われていました。ここでは飯島朋樹さん(那珂高卒)が「※SARIMAモデルを用いた新型ウイルスの感染シミュレーション」、田村太陽さん(鹿島高卒)「※MASを用いた交通状況シミュレーション」などの中間報告がありました。

※ SARIMA「Seasonal AutoRegressive Integrated Moving Average」は、定常的な時系列データの解析方法のひとつ。
※ MAS「Multi-Agent System」は、自律した行動主体であるエージェントをシステム内に複数配置し、エージェント同士の相互作用によって大域的な群行動を再現する手法。



NIEの公開授業を見学する学生

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 日本経済新聞(2023年1月19日)

「土づくり」こだわり実る

◇要約

●鈴木颯真さん(緑岡高卒)

茨城県南東部にある鉾田市は、野菜栽培が盛んな国内有数の地域として知られる。ITの活用にも余念がない深作農園だが、農業はすべて生き物が相手で、人の感覚が頼りとなると話す。

◇感想

●清和杏羽さん(茨城東高卒)

茨城県は農業が盛んで、生産量が1位になっている作物も多い。深作農園は生産して販売するだけでなく、生産した作物を加工していく技術もあるのが素晴らしいと思った。また、基礎を真面目に取り組む姿勢も見習いたい。

●中熊柚香さん(水戸二高卒)

代々引き継ぎつつ、更に良くなるように事業を展開させつつ、変わらぬこだわりとして強い芯を持っているのが分かる。私自身も社会をよりよくするために代わり続けるが、自分の中で変わることのない芯を持つ人間になりたいと感じた。

●大里竜也さん(下館工高卒)

いろいろな方面でITの技術進展が目覚ましいが、農業に関しては機械だけでは上手くいかない。必ず人の手が必要になってしまうので、どれだけITを活用できるかで、労働が変わってくると思う。

●藤森 駿さん(熊本:玉名高卒)

私の家もみかん農家で、作物を栽培することの大変さを知っている。この記事にある量を栽培しているのは物凄いなと思いました。ITの活用もしているが、「最後は人の感覚が頼りになる」という言葉が響きました。

